

NEWSRELEASE



平成28年9月26日16時 資料配付

神戸運輸監理部

配布先
神戸海運記者クラブ 姫路市政記者クラブ

この件の配布元・問い合わせ先
神戸運輸監理部総務企画部企画課（企画観光室） （担当） 池田（室長）、大山（副室長） （電話） 078-321-3144

姫路港にクルーズ客船を！ ～調査検討委員会がスタート～

「姫路港におけるクルーズ客船の誘致拡大に向けた調査検討委員会」が、9月15日にスタートしました。我が国を訪れる外国人旅行者は、昨年1,974万人となり、今年は2,000万人突破が確実となっています。外国クルーズ客船の日本寄港も増加しており、昨年、クルーズ客船で日本を訪れた外国人旅行者も111万人となり、政府としては、2020年の訪日クルーズ客500万人に向けた取り組みを進めることとしています。

こうした状況を踏まえ、神戸運輸監理部ではクルーズ客船の寄港誘致に意欲のある姫路港について、地元自治体、船社、旅行会社、港湾関係者等からなる調査検討委員会を設け、「姫路港におけるクルーズ客船の誘致拡大に向けた調査」を開始しました（委員会構成は別紙名簿のとおり）。

9月15日の第1回調査検討委員会では、事務局からクルーズを巡る日本及び姫路港の現状を報告した後、姫路港におけるクルーズ客船の入港数増加のための方策について議論を行いました。委員からは、どんなターゲットのクルーズを姫路港に呼び込むのか明確化すべきとの意見や、他港の取り組みについても調査すべき等の意見が出されています。

今後、これらの意見を踏まえて、アンケートやヒアリング、他港の事例調査等を行い、11月15日に姫路市市民会館で第2回調査検討委員会を開催し、姫路港におけるクルーズ客船受け入れのあり方等について議論を行い、年度内には、姫路港のクルーズ客船誘致拡大に向けた取り組みの方向性をまとめる予定です。

なお、11月15日は、午後に同じ会場で「瀬戸内クルーズセミナー in 姫路」の開催が予定されており、瀬戸内一円から自治体、観光、クルーズ関係者等が参加し、姫路港を含む瀬戸内クルーズ振興について意見交換が行われます。

姫路港におけるクルーズ客船の誘致拡大に向けた調査検討委員会

委員等名簿

《委員》

林 広之	神戸運輸監理部 総務企画部 次長 (座長)
嶽尾 昌徳	日本クルーズ客船(株) 営業部企画課 主任
松下 智一	(株)カーニバル・ジャパン
水田裕一郎	飾磨海運(株) 代表取締役社長
小森 亮介	神姫バスツアーズ(株) 企画販売部 次長
池田 智則	(株)JTB西日本 姫路支店営業第一課地域交流推進担当課 課長
松原 寿人	姫路港ポートセールス推進協議会 事務局長 (姫路港管理事務所副所長)
松原 延行	(一社)姫路港振興協会 事務局長 (姫路市産業振興課課長補佐)
村上 孝	飾磨港振興会 事務局長 (姫路市飾磨支所長)
道下 勝也	(公社)姫路観光コンベンションビューロー 常務理事
小笠原鉄平	姫路商工会議所 中小企業相談所 産業政策担当部長代理
雨宮 功	兵庫県 県土整備部土木局港湾課 課長
新井 達廣	兵庫県 産業労働部観光交流課 課長
円増 万司	兵庫県 中播磨県民センター県民交流室 交流観光参事
中村 浩康	兵庫県 中播磨県民センター姫路港管理事務所 所長
横田 雅彦	姫路市 産業局商工労働部産業振興課 課長
石川 博樹	姫路市 観光交流局シティプロモーション推進課 課長
酒井 貴司	近畿地方整備局 港湾空港部 計画企画官
川路 勉	神戸運輸監理部 海事振興部 部長
松浦 茂樹	神戸運輸監理部 総務企画部 海事交通計画調整官
田中 広司	神戸運輸監理部 姫路海事事務所 所長

《事務局》

池田 真	神戸運輸監理部 総務企画部企画課 課長
大山 博史	神戸運輸監理部 総務企画部企画課 課長補佐
青木健太郎	神戸運輸監理部 総務企画部企画課 企画・情報係